

日時 2019年7月5日(金) 18:30～21:00

会場 大阪市立大学文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階)

## 特別シンポジウム 第2回

# 地域アーツカウンシルのこれから アーツカウンシル 東京

### 基調講演

佐藤 李青 (アーツカウンシル東京プログラム オフィサー)

コメンテーター

中西 美穂 (大阪アーツカウンシル 統括責任者)

モデレーター

吉田 隆之 (大阪市立大学大学院都市経営研究科准教授 / 大阪アーツカウンシル 部会委員)

入場無料 定員:120名程度(当日受付)



主催 大阪市立大学大学院  
都市経営研究科都市政策・地域経済コース

協力 大阪アーツカウンシル

お問い合わせ  
大阪市立大学都市経営研究科  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 Tel 06-6605-3508

## 地域アーツカウンシルのこれから アーツカウンシル東京

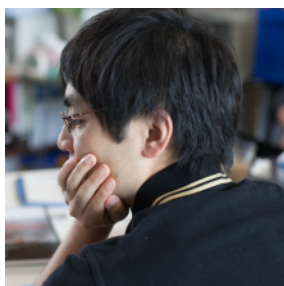
横浜市、沖縄県、東京都、大阪府市、新潟市、静岡県、大分県など、地方アーツカウンシルが各地に作られ、果たしていくべき役割が問われています。大阪市立大学大学院都市経営研究科では、大阪アーツカウンシルと協力し、シンポジウム「地域アーツカウンシルのこれから」を、昨年度からシリーズで開催しています。各地のアーツカウンシルの制度・仕組みの比較はもちろん、若手のプログラムオフィサーなどをお呼びし、アーツカウンシルの人材育成機能にも着目していきます。

初回は、アーツカウンシル新潟の石田高浩氏でした。2回目の今回は、アーツカウンシル東京の佐藤李青氏です。アーツカウンシル東京は、10名以上のプログラムオフィサーが配置され、日本型アーツカウンシルの先導的役割を果たしてきました。そのアーツカウンシル東京で、プログラムオフィサーを務める佐藤李青氏に、アーツカウンシルやプログラムオフィサーの役割・活動についてお話しいただきます。

大阪府市では2013年に大阪アーツカウンシルが設立され、5年が経過した2018年にメンバーを一新しました。佐藤氏と大阪アーツカウンシルのメンバーとの意見交換等を通して、改めてアーツカウンシルとは何なのか、地域アーツカウンシルの果たすべき役割、大阪の文化政策の今後などについて、会場の皆さんと議論を深めていきたいと考えています。

### 2019年7月5日[金] 18:30～21:00

プログラム	18:30～19:30 「プログラムオフィサーの仕事：仲介者？ 専門家？ それとも仕掛人？」 佐藤 李青
	19:30～19:40 大阪アーツカウンシルのメンバーや会場との質疑 (休憩:10分)
	19:50～20:20 「大阪アーツカウンシルの紹介」 中西 美穂
	20:20～20:50 ディスカッション、質疑応答



講演者

佐藤 李青(さとう・りせい)

アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー

国際基督教大学卒。東京大学大学院人文社会系研究科(文化資源学)博士課程満期退学。企業メセナ協議会インターン、小金井市芸術文化振興計画策定における小金井市と東京大学の共同研究グループ、小金井アートフル・アクション！実行委員会事務局長などを経て、2011年6月より現職。東京アートポイント計画、Tokyo Art Research Lab、Art Support Tohoku-Tokyo(東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業)を担当。共著に『これからの文化を「10年単位」で語るために—東京アートポイント計画2009-2018』(アーツカウンシル東京、2019年)、『文化政策の現在』(東京大学出版会、2018年)ほか。

コメンテーター

中西 美穂(なかにし・みほ)

大阪アーツカウンシル 統括責任者

京都精華大学生だった頃(1987-1991)に京都大学西部講堂連絡協議会に参加し文化事業の企画運営と芸術の公共性について学ぶ。バリ遊学を経て、大阪市芸術文化アクションプラン指標作成業務に携わる(1999-2006)。築港赤レンガ倉庫を拠点にしたNPO大阪アーツポリアなどの非営利芸術事業に関わりながら大阪大学大学院文学研究科に社会人入学。2018年4月より現職、大阪府市文化振興会議委員、関西広域連合はなやか関西・文化戦略会議委員、他。主な共著に『アートミーツケア叢書 病院のアート 医療現場の再生と未来』(生活書院、2014年)、『ブック・アートをめぐって』(キョートット出版、2016年)。



モデレーター

吉田 隆之(よしだ・たかゆき)

大阪市立大学大学院 都市経営研究科 准教授／大阪アーツカウンシル 部会委員

愛知県庁在職時にあいちトリエンナーレ2010長者町会場を担当。職務を離れてからも、長者町地区内外で一市民としてアート活動やまちづくりに関わる。2015年より大阪市立大学大学院都市経営(創造都市)研究科准教授。京都大学法学部卒、京都大学公共政策大学院修了、東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程音楽文化学専攻芸術環境創造分野修了。博士(学術)。研究テーマは、自治体文化政策・アートプロジェクト論。著書に『トリエンナーレはなにをめぐすのか 都市型芸術祭の意義と展望』(水曜社、2015年)、『文化条例政策とスポーツ条例政策』(成文堂、2017年)。

